



(2)活気あふれるまちづくり―①港区魅力発掘・創出事業

取組内容	業績目標（中間アウトカム）
「夕陽」や「ひまわり」、「あなご」など港区の魅力をモチーフにしたオリジナルな商品等を開発する事業者等を側面的に支援し、開発された商品等を港区の名物「みなトクモン」として積極的に広報・周知することにより、港区の魅力をアピールして地域経済の活性化をめざす。 また、「みなトクモン」を通じて区民の「わがまち」への愛着を高め、まちの魅力を共有することで、「住んで誇りに思えるまち」をめざす。 「みなトクモン」開発に関心を持つ事業者等を対象とした「みなトクモン発掘レクチャー」の開催：年6回以上 「みなトクモン」開発を促進するため みなトクモン募集及び「港区魅力発掘・創出事業の取組み」紹介リーフレットを作成 「みなトクモン」に関する事業者等の取組みに関する情報発信：随時	「みなトクモン」の区民モニターアンケートによる認知度：50%以上 「みなトクモンのたまご」を活用して創出が見込まれる商品等の数（5品） 【撤退基準】 「みなトクモン」の区民モニターアンケートによる認知度が前年度以下であれば事業を再構築する。 「みなトクモンのたまご」を活用して創出が見込まれる商品等の数が3つ以下であれば事業を再構築する。 前年度までの実績 <25年度> ・港区地域ブランド発掘・魅力創出事業を周知する「港区地域ブランド創出フォーラム」と企業、団体、区民によるWG（みなトクモン倶楽部）を開催 ・「港区のとっておき」を募集し、333名410点応募（8月） ・区民等の投票により7つの「みなトクモンのたまご」を選定 <26年度> ・「みなトクモン」特集号（広報みなと）により、「みなトクモンのたまご」を使った「みなトクモン」の募集 ・事業者等を対象とした「みなトクモン発掘レクチャー」を5回開催 ・「みなトクモン」認定 14社 20品 <27年度> ・みなトクモンのたまごを使った料理コンテスト実施（平成27年6月～9月 35作品応募 4作品を選定し、特別みなトクモンに認定） ・「みなトクモン」認定 21社 30品（平成27年12月末現在） ・「みなトクモン」の区民モニターアンケートによる認知度：41.1%



(2)活気あふれるまちづくり—②築港・天保山地区まちづくり計画策定の検討調査

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	副市長をリーダーとする「築港・天保山まちづくり計画」策定プロジェクト会議（庁内検討体制）において、集客観光ゾーンと住居生活エリア、港湾物流エリアが併存するといった特性を持つ築港・天保山エリアにおける現状と課題について関係各部署が共有し、戦略的な観光施策の連携、港湾計画や都市計画、民間活力の活用などの多角的な観点を踏まえた調査検討を行い、将来的なまちづくりの方針を決定する。方針を踏まえて民間活力を活用した官民協働による中長期的な「築港・天保山まちづくり計画」を29年度末までに策定する。	広域と基礎行政の連携により、「ベイエリアの魅力あふれる訪れたいまち・住みたいまちの実現」「水都大阪の玄関口として世界にアピールする集客観光拠点の形成」をめざす、まちづくりの方針を作成する。
	・築港天保山エリアの現状把握と整理（アンケート調査、現状の課題や規制緩和等の意向・民間活力導入の需要等の関係者ヒアリング調査等） ・まちづくり方針の作成（築港・天保山まちづくり計画素案） ・築港・天保山まちづくり計画策定プロジェクト会議の開催（6回予定） ・築港・天保山魅力創造検討会開催（2回予定）	【撤退基準】 方針を決定できない場合は事業を再構築する。
		前年度までの実績

(2)活気あふれるまちづくり—③川と海をつなぐ水辺のにぎわい事業

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	大阪の海の玄関口である大阪港、築港地区の歴史的価値・特性を再発見するとともに、水資源でつながった地域の歴史・文化・景観資源を生かした観光集客とまちづくりを市民協働・官民協働で進めることを目的として、水都大阪としての魅力発信となる水辺のにぎわいイベントと、大阪の発展を港と川という水のルートでたどる舟運の社会実験を実施する。	イベント来訪者への満足度調査結果：〈70%以上〉 イベント事業者の継続実施の意向調査結果：〈60%以上〉
	イベントの企画内容を検討する会議6回開催（5月～10月） 水都大阪の海の魅力を発信する水辺イベントと舟運の社会実験を実施：11月予定	【撤退基準】 イベント来訪者への満足度調査結果が50%以下なら事業を再構築する イベント事業者の継続実施の意向調査結果が50%以下なら事業を再構築する
		前年度までの実績



(3)子育て・教育環境の充実—①地域の強みを活かした教育力向上事業

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	区内の教育資源（大阪プール、海遊館など）の活用など、地域の強みを活かした手法で、特色ある学校教育の充実や社会教育の機会の提供を行う。 ・スケート教室を学校との協働で実施 ・海遊館生物教室を学校との協働で実施 ・絵本による読書活動促進スタートアップ事業の実施 ・絵本ひろば連絡会の開催 ・こどもサイエンスカフェの実施 4回 ・プロの高度なプレーに接することで、その醍醐味を体感できるよう、プロスポーツを身近に触れられる機会を提供	各取組メニューの提供先となる対象（学校や参加者など）へのアンケートにおける肯定的意見：7割以上 【撤退基準】 上記目標が6割未満の場合は事業を再構築する。
		前年度までの実績
		平成26年度実績 ・担い手・図書館・区役所等による絵本ひろば連絡会の開催：2回 ・面展台づくり講習会の開催：1回 ・地域が主体的に実施する絵本ひろばの回数：3回 ・こどもサイエンスカフェの実施：6回（環境局との共催） 平成27年度実績（12月末） ・地域が主体的に実施する絵本ひろば：3回 ・絵本ひろば連絡会の開催（10月） ・こどもサイエンスカフェの実施：8回（うち環境局との共催5回）

(3)子育て・教育環境の充実—②家庭学習の促進

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	家庭学習の促進を図るため、平成26年度に「港区版 家庭学習の手引き」を、平成27年度にその概要版パンフレットを作成。 平成28年度の新学期に新小学1年生を始め、小学校の全保護者に対し、これを配布し、学校・地域等と連携して活用を図る。 また、放課後ステップアップ事業、学校元気アップ事業、大阪市塾代助成事業など、学校外での学習の場への参加を促す取組を行う。 ・家庭学習の手引き 印刷 ・区ホームページなどを活用した学校外での学習機会への誘導	全国学力・学習状況調査における家庭学習の状況において、「30分より少ない」と「全くしない」の合計が、大阪市平均を下回る学校が5割以上（小学校6校、中学校3校） 【撤退基準】 上記目標を達成できなかった学校数が半数以下（6校）の場合は事業を再構築する。
		前年度までの実績
		平成26年度実績 - 家庭学習の手引きの作成・配布 - 教育フォーラムの開催（3月15日） - みなりんどリルの作成・配布 平成27年度実績（予定） - 家庭学習の手引き（概要版）の作成